

科目名	公共計画研究
担当者	山田 治徳
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	<p>「計画」と聞くと、「何を今さら時代錯誤なことを」と思われるかもしれませんが、しかし、公共計画イコール計画経済ではありません。公共計画は将来のための政策提案であり、目標を達成するための政策体系なのです。わが国の行政運営に対しては、理念の不在や戦略性の欠如などが批判されることがあります。これなどは数多くの計画を有する計画国家・日本において、これらが実効的に機能してこなかったことを示唆しています。こうした現状を踏まえ、本講義は、公共計画の仕組みや考え方、計画策定のための理論と技法を理解することを目的として行います。</p> <p>前記の目的を達成するため、最初に計画の基本となる政策の仕組みや考え方などについて学びます。また、実際に個々の公共計画、特に地方自治体の基本構想や基本計画などを取り上げ、これらを検証していくことで、現在の公共計画の問題や課題などについて分析していきたいと思えます。そして、このような理論や現状分析に加えて、特に昨今関心を集めている戦略計画（Strategic Planning）の公共計画への応用にも焦点を当てることで、今後の行政展開を踏まえた、より未来志向且つ実践的な講義にしたいと考えています。</p>
授業の到達目標	公共計画に関する考え方や各種概念を理解したうえで、現在の公共計画の問題を踏まえ、あるべき公共計画について考察を展開できるようにする。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画理論－公共計画を知るための基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画と政策体系</li> </ul> </li> <li>2. 現在の公共計画－どこが問題なのか現状を知る <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体計画の現状と課題</li> </ul> </li> <li>3. 合理的意思決定手法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層化意思決定法（AHP）</li> </ul> </li> <li>4. 問題の構造化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題分析図、目的分析図の作成</li> </ul> </li> <li>5. 戦略計画－これからの公共計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略計画の要素</li> <li>・外部環境分析、内部環境分析</li> <li>・SWOT分析</li> </ul> </li> </ol>
教科書	特定の教科書は使用しませんが、毎講義時にレジュメを配付します。また必要に応じ、資料を配布します。
参考文献	Bryson, J M., "Strategic Planning for Public and Nonprofit Organizations", Jossey-Bass

成績評価方法	割合	評価基準
	試験 50%	教場試験 (in-class exam) 方式ではなく、与えられた課題に対する期末レポート (take-home exam) 方式にて行います。評価は授業の到達目標の観点に基づき行います。
	レポート 25%	学期途中に各自与えられた課題に対するレポート(1回)に対して、授業の到達目標の観点に基づき評価を行います。
	平常点評価 %	
	その他 25%	出席状況により評価を行います。 したがって、やむなく授業を欠席する場合は必ず申し出て下さい。
関連 URL		
備考		